

子ども記者 札幌市 消防学校訪問



夏休み初日の7月26日、札幌市消防学校（八軒10西13）に西区初の子も記者が集まりました。私たちの安全な暮らしを守る消防士を養成する消防学校をレポートします。



■校舎・北鐘寮では

校舎には、普通教室、理化学実験室、寮のほか、音楽隊訓練室を設けています。

特徴としては、消防活動や救助活動などを視覚的にシミュレートして教育する「パソコン教室」や救急車を使って実技研修を行う「車両実習室」などで、実際の災害現場と同様の臨場感ある教育を行います。

初任教育研修生などが宿泊する北鐘寮には、4人収容の寮室を11室（女性用は1室）設けており、個人のプライバシーを尊重して室内を区画できるようにしています。また、長期間にわたる生活の場であるため、生活環境を重視した施設・設備を設けています。



緊張した面持ちで見学スタート！



▲校舎案内図を見て見学先の場所を確認。

■記者の横顔

発寒少年消防クラブに所属する小学校6年生の皆さん、加藤麻里菜さん、近藤諒君は小学校4年生から、菅原佳奈さん、峠隼登君は小学校5年生から所属。毎週火曜日、西消防署で活動中。

▼初公開の北鐘寮。4月に採用された全職員（平成18年度は35人）が半年間、消防士として必要な技術などを身に付けるための訓練（全部で18種類）を受ける。室内には浴室の使用状況が分かるランプが付いているが、ゆっくり入浴する時間はない。



カーテンで仕切られて病室みたい！

病室と違うところは勉強する机があるとところですね。